


「ディスカバー農山漁村の宝」(第8回選定) 選定地区及び選定者一覧(案)

No.01 北海道 北見市 【環境保全・輸出】

環境大善株式会社

【概要】牛の尿を活用した消臭液、土壌改良材の開発・販売。

【成果】土壌改良材等の売上
約1.9億円 (H28) → 約2.6億円 (R2)




No.02 北海道 北広島市 【伝統の承継】

北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」

【概要】商工会や農業者が、赤毛米の復活栽培、加工品の開発。

【成果】赤毛米の栽培面積
30a (H28) → 60a (R2)




No.03 北海道 当麻町 【食育教育】

当麻土地改良区

【概要】小学校と連携し、施設見学会や出前教室を実施。

【成果】田んぼの教室等の参加者数
103名 (R3)




No.04 北海道 豊頃町 【6次化・ジビエ】

株式会社ELEZO社

【概要】ジビエの狩猟から生産・流通・加工まで自社で一貫して実施。

【成果】エソシカの搬入実績
500頭 (H28) → 1,000頭 (R1)




No.05 北海道 陸別町 【6次化・企業連携】

日向 優

【概要】薬用植物を活用した機能性商品の開発や地域活動の実施。

【成果】地元企業や大学との商品開発。薬膳給食等の提供。




No.06 青森県 中泊町 【地域づくり】

中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会

【概要】農産物の集荷や移動販売により高齢出荷者・買物弱者を支援。

【成果】移動販売の売上
約3万円 (H30) → 約600万円 (R2)




No.07 宮城県 気仙沼市 【水産・企業連携】

気仙沼水産資源活用研究会

【概要】企業と市が連携し水産資源を活用した商品開発、販売促進。

【成果】開発商品の売上
約1,300万円 (R1) → 約2,300万円 (R3見込み)




No.08 宮城県 蔵王町 【農泊】

蔵王農泊振興協議会

【概要】空き家や荒廃農地を宿泊施設や観光農園に活用。

【成果】農泊関連売上
500万円 (H30) → 1億5,000万円 (R2)




No.09 山形県 山辺町 【棚田保全】

グループ農夫の会

【概要】農作業体験や棚田米販売による棚田再生。

【成果】棚田再生面積
0.4ha (H23) → 2.6ha (R2)




No.10 福島県 喜多方市 【食育教育】

福島県喜多方市教育委員会

【概要】市内の小学校が「農業科」を実施し栽培から調理まで体験。

【成果】実習や作文コンクールを実施。農業者を農業科支援員として配置。




No.11 栃木県 宇都宮市 【6次化・景観保全】

株式会社ワカヤマファーム

【概要】タケノコ等のほか、竹林をクゲ地や観光資源として利用。

【成果】入場者数
4,000人 (H28) → 4万人 (R2)




No.12 栃木県 小山市 【農福連携・6次化】

株式会社いちごの里ファーム

【概要】観光農園を展開するほか、農福連携も推進。

【成果】売上
4.2億円 (H20) → 8.8億円 (R3見込み)




No.13 東京都 目黒区 【若者の活躍】

東京大学むら塾

【概要】千葉県での遊休農地を活用し、地域活性化に貢献。

【成果】ワークショップ等の開催。遊休農地で栽培した米のブランド化。




No.14 神奈川県 小田原市 【企業連携・6次化】

一夜城コロイツカファーム・マルシェ部会

【概要】有名パティシエと連携し荒廃農地を再生、誘客拠点を運営。

【成果】売上
約2,800万円 (R2)




No.15 長野県 佐久市 【農泊・伝統の承継】

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

【概要】日本酒製造を体験できる滞在型体験プログラムの提供。

【成果】体験プログラム参加人数
135人 (R2) → 300人 (R3見込み)




No.16 新潟県 新潟市 【スマート農業】

株式会社白銀カルチャー

【概要】水稲生産の効率化により、高収益作物を導入。

【成果】水稲10a当たりの労働時間
20.5時間 (H26~H28) → 7.9時間 (R2)




No.17 新潟県 上越市 【農村文化体験】

月影の郷運宮委員会

【概要】大学と連携し廃校にて体験活動を実施。

【成果】利用者数
7,000人 (R1)




No.18 石川県 羽咋市 【水産・伝統の承継】

石川県漁業協同組合柴垣支所

【概要】伝統の海士漁の再生のほか、応援隊等によるPR活動。

【成果】R3に3名の新人海士が誕生。R2に柴垣天然板ワカメを開発。




No.19 岐阜県 飛騨市 【6次化】

有限会社牧成舎

【概要】SNS等を活用した消費者密着型販売による経営改善。

【成果】オンラインショップの売上
296万円 (H28) → 2,100万円 (R3見込み)




No.20 愛知県 岡崎市 【若者の活躍・6次化】

安城農林高校エグポ研修班with岡崎市

【概要】竹林整備により出された竹炭を名産鶏の飼料に活用。

【成果】竹炭飼料による卵の品質改善。生産工程でJGAPを取得。




No.21 三重県 津市 【農福連携】

一般社団法人三重県障がい者就業促進協議会

【概要】農業経営者と就業希望の障がい者の双方を支援。

【成果】農業シフトラー養成人数
396人 (R2)




No.22 京都府 和束町 【6次化・輸出】

お茶の通販・京都おぶぶ茶苑合同会社

【概要】日本茶の通信販売や輸出のほか、オンライン教育も実施。

【成果】茶葉の輸出額
900万円 (H27) → 2,500万円 (R2)




No.23 大阪府 堺市 【食育教育】

大阪府立農芸高等学校

【概要】消費者の大阪酪農の理解向上、牛乳消費の拡大に貢献。

【成果】酪農体験の参加者人数
64人 (H27) → 165人 (R2)




No.24 奈良県 十津川村 【森林林業・6次化】

空中の村

【概要】森林を活用したアウトドア施設を村の新たな観光拠点に。

【成果】来園者数
373人 (R1) → 5,900人 (R3見込み)




No.25 和歌山県 田辺市 【荒廃農地対策】

株式会社日向屋

【概要】農作業受託等により、鳥獣害対策と荒廃農地対策を実施。

【成果】農作業受託件数
4件 (H29) → 20件 (R2)



No.26 和歌山県 田辺市 【ブランド化・輸出】

那須 誠

【概要】紫色の梅品種のブランド化、PR活動を実施。

【成果】輸出量
60kg (R1) → 760kg (R3見込み)




No.27 岡山県 岡山市 【ブランド化・企業連携】

植田 輝義

【概要】企業と連携し、地元産品の黄二、パクチーのPR。

【成果】黄二、パクチーの売上
1,380万円 (H28) → 2,050万円 (R2)




No.28 岡山県 新見市 【環境保全】

草間台エコミュージアム推進協議会

【概要】里山等の地域環境の維持保全活動を実施。

【成果】都市住民との交流。コロナ後を見据えガイド養成。



No.29 広島県 庄原市 【地産地消】

株式会社数信村農吉

【概要】保育所の運営のほか、農産物やチーズの製造・販売等。

【成果】野菜、チーズ等の売上
約7,400万円 (H30) → 約8,000万円 (R2)



No.30 山口県 長門市 【6次化・地産地消】

株式会社63Dnet

【概要】地域食材を使った商品づくり、販売チャネルの確立。

【成果】小売事業の売上高
約1,400万円 (H28) → 約4,200万円 (R2)




No.31 徳島県 阿南市 【6次化・地産地消】

黒川 真太郎

【概要】農業・食品加工・販売のほか、学童保育も運営。

【成果】パン店舗の売上
109万円 (H29) → 445万円 (R2)




No.32 徳島県 神山町 【森林林業・移住定住】

神山しずくプロジェクト

【概要】スギを使った木製品ブランドのほか、職人等の移住を促進。

【成果】木製品等の売上
400万円 (H28) → 1,300万円 (R2)




No.33 香川県 高松市 【伝統の承継・輸出】

「高松盆栽の郷」推進協議会

【概要】国内外への盆栽の販売、オンラインイベントを実施。

【成果】盆栽の輸出本数
約12,000本 (R2)




No.34 愛媛県 伊方町 【企業連携・移住定住】

愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」

【概要】地域の特産物を活用した商品開発、カフェの展開。

【成果】地元への就職率
25% (H28) → 40% (R2)




No.35 高知県 本山町 【環境保全・鳥獣害対策】

吉延宮農組合

【概要】集落一帯となった獣害対策、棚田保全活動等を実施。

【成果】獣害防止柵の設置距離
1.2km (R1)




No.36 福岡県 みやま市 【環境保全・地産地消】

みやま市環境衛生課 循環型社会推進係

【概要】生ゴミから作った液肥の活用、廃校をカフェ等として利用。

【成果】カフェ利用者数
1,536人 (R1) → 2,500人 (R3見込み)




No.37 佐賀県 伊万里市 【地産地消】

佐賀県立伊万里実業高等学校フードプロジェクト部

【概要】規格外農産物を使ったカフェや余剰食材の回収活動。

【成果】規格外農産物を使った商品数
2種類 (H28) → 1.5種類 (R3見込み)



No.38 沖縄県 名護市 【6次化・地産地消】

山原女性農業者の会

【概要】農業経営の安定、新規就農者の育成等の活動。

【成果】新規就農者支援数
9人 (H28) → 34人 (R2)



■ : 「コミュニティ部門」選定地区

■ : 「ビジネス部門」選定地区

■ : 「個人部門」選定者

